



ユートピアエコシステム

UHY FAS ニュースレター/ 2021年3月

私たちが今日住んでいる世界では、データが最重要だ。多くのエコノミストは、「今世紀のデータは前世紀の石油であった」と信じており、成長、変化、成功の原動力となっている。

アラブ首長国連邦政府（UAE）は、中小企業セクターの継続的な発展を支援するために最善を尽くしている。しかし、私たちは、官民を巻き込んだ、よりまとまりのある努力が加速した結果を生み出す可能性があると感じているし、中小企業を育成するためのアプローチを根本的に変える必要がある。金融機関がこのセクターに十分な信用を提供していない主な理由として、透明性の欠如、正確な情報の入手不能、および事業の真正性に関する全体的な信頼の欠如がしばしば挙げられる。中小企業向けの担保ベースの貸付は依然として行き詰まっており、キャッシュフローベースの貸付を検討することに熱心な銀行は多くない。一方、中小企業は、UAEで無担保借入れをすることは非常に難しいことを考えると、基本的な運転資金のニーズを満たせていない。これは古典的な「キャッチ22(板挟み)」の状況だ。この根本原因に対処しない限り、大きな改善を導くことはできない。

では、どのようにしてシステムへの信頼を一夜にして強化し、構築するのだろうか。すべての中小企業に強制的な法定監査を義務付けるか？または、ERP (Enterprise Resources Planning = 企業資源計画)を採用するように彼らに強制するか？さて、理論上は、私たちはそれを達成することができるというし、それは方程式のデータと情報の部分を解決するだけかもしれないが、それでは、

ビジネス環境に対する全体的な信頼をどのように強化するのか？現在、これには、すべての主要な利害関係者、すなわち管理者、規制当局、製造販売元、サービスプロバイダー、金融機関、政府機関、テクノロジープロバイダー、税務当局、格付機関、個人の信用調査機関、決済ソリューション会社などの介入と積極的な貢献が必要である。上記のすべての利害関係者が、すべてのデータベースと情報要件のために、「ユートピアエコシステム」と呼ばれる単一の共通プラットフォームにアクセスしている場合を想像してみたい。

最先端のテクノロジーの時代では、ブロックチェーン、分散型台帳、API (Application Programming Interface) を駆使して、登録からリリース、就労VISAの承認、製造販売元の詳細、サービスプロバイダー、在庫動向、売掛金、支払まで、「完全な顧客のビジネス行動のすべて」を確実に捉えることができる。仮に共通のプラットフォームを介して、国内のすべての中小企業（現在および将来）のこの情報を取得できれば、規制報告、財務報告、税の査定に準拠するための主要な記録になり、問題の90%は解決できたはずである。信頼性を高めるために、同じデータベースがサードパーティの信用格付機関、信用評価機関、および信用調査機関の監視によって使用されている場合、私たちは実質的に信頼の戦いに勝つのだ。もちろん、さまざまな利害関係者への情報アクセスのレベルは、アクセスの必要性と重要度に完全に依存する。これにより、データのプライバシーと顧客の機密性に関する懸念の問題に対処できる。ただし、このユートピアエコシステムの最大の利点は、ブロックチェーンを

使用した完全なエンドツーエンドの履歴を持つデータの独立した検証である。従って、外部ソースまたは利害関係者によるあらゆる種類の不正行為または操作の余地はほとんどない。主要な各々の利害関係者が独立して情報にアクセスできる場合、公平な情報源が必要であり、それはエコシステム全体に多くの信頼性を付加する。

例えば、

1. 顧客の銀行口座を開設する商業銀行は、会社の登記時に、顧客から経済省に提出されたものと同じKYC (Know Your Custome) 文書一式にアクセスできる。
2. 信用格付機関は、信用調査機関がアクセスできる銀行が共有するのと同じデータから、会社が負っている債務全体を見ることができる。
3. 税務当局は、税務申告と一致するように、システムからのクライアントの販売および購入トランザクションを個別に見ることができる。
4. 必要な場合、規制当局は、会社の口座に出入りする大きな資金移動を監視でき、さらに重要なことに、そのような送金の発信元または最終受取先を確認できる。
5. 銀行家と監査人は、それが紙の取引または循環取引ではないことを確認するために、ビジネスまたは取引の真正性について問い合わせることができる。
6. 最後に、債権回収者は、ボタンをクリックするだけで、顧客が保有するすべての資産（動産と不動産の両方）に関する情報にアクセスできる。

これらはいくつかの基本的な利点の単なる例であり、このエコシステムから抽出できる、はるかに多くの付加価値情報が存在する可能性がある。

例えば、

1. 1年間に取引された商品とサービスの合計量、製造元、仕向地、地産消費、再輸出、関係するトレーダー、関係するブローカーなど。
2. 産業別、企業別、首長国別、仕事の性質、輸入されたスキルセット、国有化の程度などによって創造された実際の雇用の総数がどのくらいか。

3. 銀行が実際に中小企業を支援しているこのセグメントに供給する資金の総量、提供される融資条件、回収率、デフォルト率、利用可能な担保など。
4. 中小企業への政策ベースの貸付または経済の特定のセクションへの金銭的優遇/助成金の影響を評価し、草の根レベルまで追跡する。

複数の利害関係者がさまざまな程度の関与とデータアクセスに関与しているという事実を考えると、すべてのブロックチェーンソリューションの母体開発を主導する単一のノードエージェンシー (node-agency) を持つことが理想的である。

最近目にしたある記事の引用でこの記事を終えたい。

『今日私たちが住んでいる世界では、データが最重要だ。多くのエコノミストは、「今世紀のデータは前世紀の石油であった」と信じている。これは成長、変化、成功の原動力だ。』

Partner · Corporate Finance

UHY James Chartered Accountants

United Arab Emirates

Anand Ramani

本文は、UHY hacker young 事務所が作成したレポートを、UHY FAS が抄訳したものです。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



コンタクト

株式会社 UHY FAS

齊藤 守人 - バイス・プレジデント

Email: saito.fas@uhy-tokyo.or.jp

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル4F

Tel: +81 3 6417 0067 / Fax: +81 3 6417 0783

Website : <https://www.uhy-tokyo.or.jp/uhy-fas>